

令和4年度第1回 独立行政法人労働者健康安全機構契約監視委員会〔概要〕

開催日時	令和4年6月16日 11:20~13:10
委員	山本 勲 (慶應義塾大学商学部教授) 田極 春美 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員) 竹内 啓博 (公認会計士) 遠藤 和夫 (独立行政法人労働者健康安全機構監事) 藤川 裕紀子 (独立行政法人労働者健康安全機構監事(非常勤))
審議事項	1. 令和4年1月から令和4年3月までに締結した契約の点検・見直しについて
議事概要	<p>1. 契約の点検・見直しについて</p> <p>令和4年1月から令和4年3月までに締結した契約(502件)について、競争性の確保、コスト削減等の観点から点検すべき案件として選定した契約案件(5件)について審議。</p> <p>【主な指摘事項】</p> <p>○随意契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「非常用発電設備点検」について、①過去の契約が公告内容を踏まえた契約となっていないこと、②今回の随意契約を容認できる別途の事情も確認できないこと、以上の理由から、本件の調達に当たっては一般競争入札の実施を考えるべきであったと思われる、今後は、公告内容を踏まえた契約の締結が求められること。 <p>○一者応札・応募</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「緩和ケア病棟改修工事」について、今後は、①公告期間を可能な限り確保しつつ、②複数業者への声掛けを積極的に行うことで、競争が働く環境づくりに努めること。 また、参加資格及び予定価格の設定に不備が見受けられたことから、マニュアル等に沿った適正な契約手続きを心掛けること。 ・「非常用発電設備オイルタンク増設工事」について、本件は、余裕を持ったスケジュールの中で計画的に進めたことにより、2回の入札及び不調随意契約交渉を経て、契約金額が削減されたものとする。今後も①公告期間及び履行期間を可能な限り確保するとともに、②近隣病院への情報収集を積極的に行うことにより、競争が働く環境づくりに努めること。 ・「建物清掃業務委託」について、今後は、①過度な資格要件の設定となっていないか必要性の有無と、サービスの質を担保しながら改善の余地を検討し、②事前に資格要件の設定が適切であるか複数の業者から意見徴取を実施することで、競争が働く環境づくりに努めること。 ・「労働時間集計表のデータベース化とグラフ化」①引き続き、業者への声掛けを積極的に行うとともに、②今回は実施しなかった入札説明会の開催を実施することで、競争が働く環境づくりに努めること。